

公益財団法人味の素食の文化センター
「2026年度食の文化研究助成事業応募要領」

1 研究助成の趣旨

食の文化に関する研究分野において、新たな知見の発掘・確立や新領域の開拓など、食文化研究の発展をリードしようとする意欲ある若手研究者の支援を目的とします。

特に、従来にない斬新な発想や枠組みで取り組み、食の文化に関する研究や認識に新たな広がりや深みをもたらすことが期待される研究を対象とします。

このことを通じて、人類の健康で豊かな生活や食文化の形成に貢献することとします。

2 助成の対象

(1)研究分野

- ①食の文化に関わる研究を対象とします。人文・社会科学の研究に限らず、自然科学分野で食の文化に関する研究も含めます。(但し、食品や医薬品などの開発を目的とするものは除きます。)
- ②特に、食の文化に関する認識や研究活動に新たな広がりや深みをもたらすことが期待される研究を優先的に対象とします。

(2)対象者

- ①原則として 2026 年 4 月 1 日時点で 40歳までの研究者であって、連絡が可能な関係者からの推薦がある方とします。(助成対象者の国籍は問いませんが、日本国内に居住する研究者であって、日本語での申請及び報告書の作成や成果の発表が可能であることが必要です。また、出産・育児・介護等によりやむを得ず研究ができなかった期間がある場合、略歴欄にご記入ください。最長5年間まで当該期間分を考慮します。(任意))
- ②個人研究を対象とします。共同研究者のあることを妨げませんが、研究の主体者は申請者であることは必要です。

3 助成申請の要件

- ①申請者の研究内容および研究実績を理解する立場にある関係者(所属機関の長、指導教官など)からの推薦書を要します。
- ②申請課題について、他の民間助成機関から重複して助成を受けることはできません。
- ③現在助成を受けている研究者は助成研究期間終了まで申請を行うことはできません。
- ④2027 年 3 月初旬に開催される贈呈式へ申請者本人に出席して頂きます。(所属機関の公的行事等による欠席は事前の届け出が必要です。)

4 助成期間・助成金額

(1)助成期間 2027 年 4 月 1 日から1年もしくは2年間

(2)助成金

- ①助成 1 件当たり 100 万円程度(海外旅費を計上する場合は最大120万円)として、具体的には研究の規模、内容等を勘案して決定します。総額1100万円。
- ②助成対象の選考においては、応募金額及び助成金支出計画の妥当性についても審査します。
- ③助成対象となった場合でも、助成金額は応募金額より減額され、支出計画の修正が必要になることがあります。

5 助成金の支払い

助成金は、2027年3月末までに、申請者が指定する銀行口座に振り込みます。

6 助成金の使途

- ①申請に際して支出計画を提出して頂き、申請の研究に必要な経費について助成の対象とします。原則として、下記の経費は認められません。
 - ・大学での管理費など、オーバーヘッド(間接経費)
 - ・PC、タブレット、カメラ等の助成期間終了後にも汎用的に使用できる機器類
 - ・研究成果発表を目的としない学会・会議への旅費を含む参加費用区分については、別紙、研究助成費目区分表をご参照ください。
- ②原則として計画に基づき支出して頂きますが、計画に変更が必要になった場合には、事前に当財団担当までご相談ください。状況を鑑みて判断いたします。なお、助成期間終了後、助成金の残金がある場合にはご返金いただきます。

7 応募の手続き及び選考について

(1)応募期間・応募方法

- ①応募期間 2026年7月1日～2026年8月31日
- ②応募方法
当財団のホームページから「食の文化研究助成申請システム」にアクセスし、マイページを取得後に申請ください。

(2)選考方法

助成の可否は、外部有識者等により構成される当財団「選考委員会」において選考を行った上で、当財団理事会にて決定されます。

(3)選考結果

選考結果については、2026年12月末までに、メールにて申請者にお知らせします。

8 助成開始(覚書の締結と助成金の交付)

- ①覚書の締結:助成の対象となった研究者は、当財団との間で確認書を結び、個人として責任を負い、これに即して研究プロジェクトを実施することになります。
- ②助成金の交付:助成金は、確認書を締結したのち研究者が指定する預金口座に年度末までに振り込むこととします。所属機関にて管理する場合、依頼書・申込書等が必要となるため、助成決定後、当財団担当までご相談ください。

9 報告書類の提出等

(1)報告書類の提出

- ①助成期間終了後、研究経過報告書及び助成金の使途を整理した収支報告書を助成期間終了年の4月末日まで、研究成果概要報告書(A4用紙に1~5枚程度で、学会発表等に制約が生じないもの)を6月末日までに、当財団に研究助成システムへ提出(アップロード)することが必要です。なお、研究成果概要報告書については、当財団のホームページに掲載させていただきます。
- ②収支報告書には、領収書(原本)は本人が保有し、pdfファイルにして提出してください。

(2)報告会・討論会等

- ①2027年3月上旬に開催予定の贈呈式に出席いただきます。
- ②助成を受けた研究内容・成果は、助成終了年の3月頃に開催する中間報告会で発表して頂きます。

- ③助成を受けた研究を論文等で他に発表される時は、当財団で助成を受けた旨、注記して頂くとともに、発表された論文等を当財団宛に提出願います。
- ④助成を受けた研究に関連して、当財団が行う公開講座等での講演や機関誌への原稿を依頼することがあります。

10 個人情報の取り扱いに関する事項

- (1)当財団の研究助成への応募に関わる全ての個人情報は、選考に関する手続き(審査と当財団からの連絡)のみに使用します。
- (2)本人の同意がある場合を除き、第三者に開示又は提供しません。
- (3)助成決定後、当財団の機関誌、ホームページ等に次の情報を公開します。
 - ①助成対象者の氏名、所属機関、役職名
 - ②研究課題
 - ③研究期間
 - ④助成金額
 - ⑤研究成果概要報告
 - ⑥当財団主催の行事等に参加した際、当財団で撮影した写真

以上

【申請内容イメージ：食の文化研究助成申請システムの指示に従い入力・申請のこと】

2026年度 味の素食の文化センター「食の文化研究助成」申請内容イメージ

公益財団法人味の素食の文化センター

理事長 藤江 太郎 殿

申請日 2026年 月 日

研究課題名		(40字以内) 申請する研究課題の専門分野*1 ()	助成申請額
ふりがな			千円
申請者氏名		生年月日	年齢
所属機関		西暦 年 月 日	歳
役職		申請者の専門分野*1	研究期間の希望
*連絡先			1年・2年
所属機関	〒 TEL () E-mail		
所在地	〒 TEL () E-mail		
自宅住所	〒 TEL () E-mail		
申請者の略歴			
当財団からの助成歴			

*1：専門分野は、科研費審査区分表中・小区分を参照、*2：必ず連絡の取れる住所、TEL、E-mailを記入

共同研究者がいる場合			
共同研究の必要性と役割等			
共同研究者名	専門分野 ()	年齢 (歳)	
所属機関			
共同研究者名	専門分野 ()	年齢 (歳)	
所属機関			
共同研究者名	専門分野 ()	年齢 (歳)	
所属機関			

1 研究課題名（再掲） ※ 40字以内
2 研究の目的と必要性（背景及び目標、学術的な意義や社会的な効果など）
3 研究の特徴（創造性、独自性、発展性など研究の深さや広がり）
4 研究の内容と計画（主な課題とその研究方法、研究工程）

5 研究経費の内訳（申請額の積算根拠と具体的な支出計画）		
費目	金額（千円）	積算根拠
物品費		
人件費・謝金		
旅費		
その他		
6 本研究に向けた準備状況		
7 本研究に関連したこれまでの主な研究実績（研究発表論文、著書等）		
8 他の機関への申請もしくは応募予定がある場合、本申請との相違点及び併せて応募する理由をご記入ください		
9 推薦者 推薦者名 所属機関・役職 連絡先 TEL () E-mail 申請者との関係： ※次ページの推薦書にて推薦を受け、申請書と合わせてご提出ください。		

公益財団法人 味の素食の文化センター
理事長 藤江 太郎 殿

推薦者名*

印

所属機関・役職

住所

推 薦 書

貴財団に研究助成申請をしております下記の研究につき、次の通り推薦いたします。

記

1. 研究助成申請者名

2. 研究課題名

3. 推薦理由

以上

*: 自筆の場合、押印不要